

海外（ネパール）研修紀行②

本学の1年生に海外研修について記事をお願いしました。今回は、後半の部分になります。皆さま、最後までお付き合いください。



26日は、昨日とは違う病院に行きました。こちらでも小児病棟を見学しました。日本のアニメ忍者ハットリくんが流行っているらしく、病棟の壁にプリントされていました。この日はホストファミリーに晩御飯を作るということで友達と協力して作りました！！



27日は、ホストファザーと先輩たちと学生みんなで買い物に行きました。その後、お別れ会をしました。学長先生が来てくださったということでマグカップのプレゼント！！お別れ会ではホストファミリーに感謝の気持ちで途中から涙があふれ出てきました。知らない環境ではっちゃけている私を温かく見守って、サポートしてくれ本当に世話になりました。



28日は、日本へ帰る日でした。寂しさを感じ急に家からの景色を撮りました。

そして、早朝から、寝ている神様を見に行きました。この旅で仲良くなった私の大好きなお友達も一緒にうれしかったです！！最後にホストマザーからドレスのプレゼントを頂きました。

また、ホストファザーの帰りが遅いときにいつもお邪魔していたお家のおじいさんとも親しくなり、お別れ会で号泣した時も慰めてくれました。本当にたくさんの方にお世話になりました。

【研修を通して看護学科の学生として学んだこと】

これから日本も移民の規制緩和により、多くの人が日本に来ると思います。その際に外国から来られた人にとって日本は異文化なので、不安感持つかもしれません。そういった方々と接するときは十分に説明し、幅広く捉えながらケアをしたいと考えています。そして保健師になれば、他国の人向けに日本の予防策などを伝え、正しい自身の身を守るための知識を広めて行くことが大切だと考えた。このネパール研修は将来医療従事者の立場からの他国の人への接し方について少しヒントをもらえたように感じました。

看護学科1年

藤本理沙



最後は Nepal→Japan へのフライトの写真でおしまい。

